

○司会 ただいまから本日のヒアリングを始めさせていただきます。

最初は、東京都木材団体連合会の皆様でいらっしゃいます。

（一般社団法人東京都木材団体連合会 入室）

○司会 ありがとうございます。お席にお進みいただきますようお願いいたします。

それでは、早速ではございますが、これよりヒアリングと意見交換を始めさせていただきます。

冒頭、知事から一言お願いします。

○小池知事 皆様、こんにちは。東京都木材団体連合会の皆様方には、都政に対しましてのご理解、ご協力いただいております。誠にありがとうございます。

皆様方は木材の流通を通じて、国産木材の利用の拡大や森林資源の循環利用の実現など、ご尽力いただいております。

今日は現場のお話を伺いまして、また、ご意見、ご要望を伺いたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

○司会 それでは、都政へのご要望をぜひともよろしくお願いいたします。

○一般社団法人東京都木材団体連合会（庄司会長） 一般社団法人東京都木材団体連合会の庄司でございます。本日はこのような機会を設けていただき、誠にありがとうございます。

それでは、要望を発表いたします。平素より木材の利用拡大につきまして、格段のご指導、ご鞭撻を賜り、厚く御礼申し上げます。

私ども一般社団法人東京都木材団体連合会は、13会団により木材の流通を担当しており、傘下の組合員数は約900社で構成されており、江戸開府以来、木材の集積・供給を担ってまいりました。

木材の利用は、人々の暮らし・山村地域の振興のみならず、他の資材と比べて製造時のエネルギー消費が少ないなど、地球環境の保全に大きく貢献するものであり、2050年カーボンニュートラルに向けた我が国の施策にも合致するものです。森林を保全し、林業を通じて森林を守り育てるためにも、また、SDGsの観点からも、木材利用拡大に取り組むことが重要と考えております。

このようなことから、広範な都民の理解と支援を得つつ、住宅、公共施設などの建築・外構はもとより、内装に至るまで木材利用が一層促進されるよう、次の事項を要望いたします。

1、国産木材の需要拡大。我々木材業界は、国内木材需要の減退に長年直面している中、需要拡大に向けたイベントとして「木と暮らしのふれあい展」を東京都と私たち都木連で共催し、大消費地である都心部で木のよさを発信しています。

「木と暮らしのふれあい展」は昭和56年から始まった歴史あるイベントで、42回目となる令和7年度は10月25日、26日の2日間、都立木場公園で開催いたしました。2日間ともあいにくの雨でしたが、多くのお客様でにぎわう充実したイベントとなりました。令和6年

度に、このイベントへの補助金を増額していただき、イベント収支は大幅に改善しました。ただし、依然、物価高の影響を受け、開催経費は増加傾向が続いています。今後も毎年開催を予定しておりますので、引き続きご協力をお願いいたします。

2、内装への木材利用への支援。木材を見たり、触ったりすることで、人が生理的にリラックスする効果があるということが解明されつつあり、このことについて千葉大学と共同で研究しています。このような効果を含めて木の持つすばらしさを「木力」と名づけ、木材利用を掘り起こすべく、私たちは日々発信しています。このことは、昨年7月17日に全国知事会国産木材活用プロジェクトチーム会議でもご説明させていただいたところでございます。

このような木の持つすばらしい特性が木造住宅の新築につながることを期待しています。しかし、特に都市部では住宅が充足していることや防火の観点からも、新たな需要は大きく期待できません。

そこで、我々は「木力」によって室内環境の改善が期待できることから、国産木材、例えば杉やヒノキ等を壁面や床に使用することを従来から提案してきています。

リフォームについては「東京の木 多摩産材 木材利用ポイント事業」の対象に追加させていただいたところであります。引き続き、マンションや住宅のリフォームに国産木材をより多く活用していただけるよう支援をお願いいたします。

東京都で今後実施する施設の建て替えや改修の際には、引き続き木材の利用を優先してご検討いただくことをお願いいたします。各地にある公共施設や都立の学校、駅構内、その他様々なところでの積極的な木材活用を期待しています。私たちは積極的に協力させていただく所存でございます。よろしくお願いいたします。

○司会 どうもありがとうございました。

それでは、知事からコメントをお願いします。

○小池知事 地域の木材の活用というのは、森林の適切な管理を支えることになります。すなわち治山治水の実現につながるものと考えております。

都は都有施設の整備などを行う際に、積極的に国産木材を活用しております。また、集客力のある商業ビルなどにおける利用も促進をいたしてまいります。

その他、ご要望幾つかございましたので、担当局からお答えさせていただきたいと思えます。

○司会 田中産業労働局長、お願いします。

○産業労働局長 産業労働局です。いつもお世話になってございます。1つ目の国産木材の需要拡大について、私からお話しさせていただきます。

東京都では、森林の役割や木材利用に関します都民の理解を深めるために、情報発信拠点の整備などによりまして、木材を活用した製品の魅力などを紹介してございます。また、お話ありました「木と暮らしのふれあい展」など、木のよさを発信するイベントなどを通じまして、都民への普及啓発を引き続き実施してまいりたいと考えております。

○司会 2点のご要望につきまして、今お話をさせていただきました。

目下、来年度の東京都の予算編成が進行中でございます。この中でご要望につきまして、は具体的に検討させていただきたいというふうに考えてございますので、引き続きのご理解を賜ればというふうに考えております。

よろしゅうございますでしょうか。ありがとうございます。

それでは、これをもちましてヒアリングを終了とさせていただきます。本日は誠にありがとうございました。

（一般社団法人東京都木材団体連合会 退室）

○司会 続きまして、東京都漁業協同組合連合会の皆様でいらっしゃいます。

（東京都漁業協同組合連合会 入室）

○司会 ありがとうございます。お席にお進みいただきますようお願いいたします。

それでは、早速ではございますが、これよりヒアリングと意見交換を始めさせていただきます。

冒頭、知事から一言お願いいたします。

○小池知事 関理事長をはじめとする皆様方、お越しいただいております。東京都漁業協同組合連合会の皆様方には日頃から東京都の都政に関しましてのご理解、ご協力を賜っております。ありがとうございます。

漁業の振興、そして、都民の食卓に安全・安心な水産物を届けるなど、海の恵みを大切にしながら、日々精力的にご活動いただいております。気候変動などいろんな変化もございます。現場が今どうなっているのか、そしてまた、ご意見、ご要望を伺いたいと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。

○司会 それでは、都政へのご要望をぜひともお聞かせください。よろしくお願いいたします。

○東京都漁業協同組合連合会（関代表理事長） それでは、東京都漁業協同組合連合会の会長の関でございます。

平素より東京の漁業振興に関し、格別のご理解、ご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。また、燃油や出荷資材価格高騰に対しても支援をいただき、重ねて感謝申し上げます。

当連合会は、島しょ及び東京都内湾地区の18の漁業協同組合等を会員とし、漁業用燃油の供給や会員からの提供された水産物の販売、漁業経営に関する指導を行っています。

さて、近年、気候変動がもたらす海洋環境の変化などにより、水産資源の減少が進み、また、原油の高騰により燃油や出荷資材の価格は上昇傾向にあります。加えて、漁業者の減少や高齢化も急速に進んでおり、様々な課題が山積しています。

本会として、漁業者、漁業協同組合と一丸となり、資源管理の推進や漁家・漁業経営の安定に努めてまいりますが、脆弱な経営体質などから、その取組には限界があります。

本会といたしましても、持続可能な漁業を実現するため、漁業者、漁業協同組合一丸、一体となり、資源管理の推進や漁業の担い手の確保・育成、漁家・漁業経営の安定等に努

めておりますが、脆弱な経営体質などから、その取組には限界があります。

つきましては、令和8年度東京都予算において、下記の主要7項目について、ご支援をお願いいたしますが、本日はその中でも特に重要な3項目について説明申し上げます。

まず、第1に、漁業操業の安全確保について。伊豆・小笠原諸島周辺海域は、気象・海象状況が厳しいことから、これまで漁船の事故が繰り返し発生してきました。加えて近年、気候変動に伴う気象の不安定化などにより、そのリスクは一層高まっていることから、漁業者が安心して操業が行えるよう、漁船の衝突事故防止や、遭難時の速やかな救助にもつながらるA I S導入の支援をお願いします。

第2に、漁業者の担い手の確保・育成です。漁業者の急速な減少と高齢化への対応は喫緊の課題ですが、現状では、募集をかけてもなかなか人が集まりません。このため、東京フィッシャーズ・ナビを核として、漁業系統団体と連携し、漁業の担い手の確保・育成に係る各種の取組の一層の推進をお願いします。特に漁業への興味や関心を抱かせるため、戦略的な広報や新規就業者の定着に向けた地域全体の受皿づくり、経済的・技術的に不安定な独立直後の不安解消につながる支援などをトータルでサポートする新しい取組を実施していただきますようお願いします。

また、担い手の確保・育成の主体である漁業協同組合について、人手不足の状況下でも効率的に業務を遂行できるよう、デジタル技術による事務の改善、職員のスキルアップ、荷さばき作業の効率化の推進など、漁協経営のD X推進に向けた支援の強化をお願いします。

3つ目は、水産資源の持続的な利用についてです。

キンメダイなどの主要な水産資源について、資源管理の基礎となる評価の精度向上を図るため、島しょ農林水産総合センターの調査・研究体制の強化や、漁船を活用した操業情報収集システムの充実などをお願いします。

また、伊豆諸島海域では、一部地域を除きテングサなどの海藻がほとんど取れなくなり、イセエビやトコブシなどの貝類も非常に厳しい状況となっています。このため、こうした磯根資源の生息の場であり、ブルーカーボンとして大切な役割を果たす藻場について、新たな藻場造成等手法を検討するなど、藻場を早期に再生する技術開発推進をしていただくようお願いします。

さらに、伊豆諸島の海域でのクロマグロなどの遊漁と漁業のトラブル未然防止を図るため、東京都においても監視・取締り体制を強化していただきますようお願いします。

海洋環境の変化や厳しさを増す漁業経営など、課題に対していかなければなりませんので、ぜひよろしくお願いします。

説明は以上でございます。

○司会 ありがとうございます。

それでは、知事からコメントをお願いいたします。

○小池知事 まず、1番目の漁業操業の安全確保でございます。水産業振興を図る上で、

やはり漁業の操業の安全が確保されねばなりません。特に今年3月に島しょ部で操業中の遭難でお亡くなりになったという事故も発生をいたしました。都としてもこうした悲劇が再び起こることのないように、漁船の安全確保に向けた支援を検討してまいります。

そして、2番目、担い手の確保でございます。漁業の持続的発展のためには漁協の安定した経営基盤、また、後継者の対策も重要でございます。現在、都といたしまして漁協への経営安定化の支援、また東京フィッシャーズ・ナビの運営などを実施をいたしております。今後、DXの導入によります漁協の経営基盤の強化を進めていくとともに、漁協の魅力の発信による就業の促進や、地域の受入れ環境の整備などにつきまして、後押しを一層進めていく考えでございます。

その他、もう1点ございました。担当の局からお伝えをさせていただきます。

○司会 田中産業労働局長、お願いします。

○産業労働局長 産業労働局でございます。残りましたもう1点、水産資源の持続的な利用について、私からお話しさせていただきます。

水産資源を持続的に利用していくためには、水産管理の着実な推進に加えまして、温暖化への対応が大変重要でございます。都では、デジタル技術活用による資産評価精度の向上ですとか、あと、クロマグロが遊漁届出制になりましたので、それへの対応、また、海藻の生態に詳しい専門家の力を借りた高水温下での藻場製造、藻場の造成手法の検討などということで、これらの取組を着実に進めてまいりたいと考えてございます。

○司会 会長からお話しいただいた3点について今、都としてお話をさせていただきます。これと併せまして、まだほかにもご要望を頂戴しておりますので、具体的には目下、来年度の東京都の予算編成が今進行中でございますので、この中で一つ一つ丁寧に精査をさせていただきたいというふうに考えておりますので、引き続きのご理解を賜ればというふうに思います。

よろしゅうございますでしょうか。

○東京都漁業協同組合連合会（関代表理事会長） 1点よろしいでしょうか。

○小池知事 はい。

○東京都漁業協同組合連合会（関代表理事会長） 8号の台風で東京都の指導船「みやこ」、
「やしお」、活躍してもらって、どうもありがとうございます。

それとあと、八幡もやってます、うちの持ち船であります八幡も協力してますので、その辺もご理解いただければと思います。

○小池知事 イセエビは。

○東京都漁業協同組合連合会（関代表理事会長） イセエビは多分、100%駄目だと思います。島の反対側の桟橋の手前にテトラがあるんですけど、そこで少しいれば、今年は誰もまだやってないです。

○小池知事 大分北限というか。

○東京都漁業協同組合連合会（関代表理事会長） はい、多分福島のほうへ行っちゃって、

よく小池知事さんが私どものエビだって言わないかと思って。大分、伊豆七島は全部向こうへ行っちゃってます。

○小池知事 キンメダイはどうですか。

○東京都漁業協同組合連合会（関代表理事会長） キンメダイは、ちょっと遠くまで行けばありますけど、今日は出てないですね。キンメダイはいいですよ。

○小池知事 トコブシは。

○東京都漁業協同組合連合会（関代表理事会長） トコブシもいないです。海藻がないから、トコブシ、イセエビ、サザエがもう全滅。もう多分大島まで駄目だと思います。

○小池知事 逆に、これまで捕れなかった魚が捕れるということは。

○東京都漁業協同組合連合会（関代表理事会長） いや、ほとんどないですね。

○小池知事 ないですか。

○東京都漁業協同組合連合会（関代表理事会長） ええ。目で見えた。要するに我々が生活するものは、多分変化はないと思います。

○東京都漁業協同組合連合会（関代表理事会長） お金になるものは捕れないということです。

○産業労働局長 マグロはちょっと捕れるか。

○東京都漁業協同組合連合会（関代表理事会長） マグロですか。マグロはまだ三宅だとまだ1本しか上がってないけど、八丈が、まだ三宅はやってないから。俺はあした帰りますから、あさって多分大島のほうにマグロ釣りに行くと思います。今から頑張ります。

○司会 どうもありがとうございました。

これをもちましてヒアリングを終了とさせていただきます。本日はありがとうございました。

（東京都漁業協同組合連合会 退室）

○司会 続きまして、東京都電機商業組合の皆様でいらっしゃいます。

（東京都電機商業組合 入室）

○司会 ありがとうございます。お席にお進みいただきますようお願いいたします。

それでは、早速ではございますが、これよりヒアリングと意見交換を始めさせていただきます。

冒頭、知事から一言お願いします。

○小池知事 皆様、こんにちは。東京都電機商業組合の皆様方には東京都の都政に対しましてのご理解、ご協力を賜っております。ありがとうございます。

生活に密着した地域の電器屋さんということで、都民の快適な暮らしを支えていただいております。また、家庭におけるこの省エネに向けた取組もご協力いただいているところでございます。H T Tバッジもありがとうございます。

今日は現場の実態にお詳しい皆様方からお話を伺おうと思います。また、ご意見、ご要望も同時に伺わせていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

○司会 それでは、都政へのご要望をよろしくお願いいたします。

○東京都電機商業組合（福田理事長） 本日は、小池都知事をはじめ、幹部の皆様にはこのような機会を与えていただきまして、お時間を取っていただきまして、誠にありがとうございます。東京都電機商業組合理事長の福田でございます。よろしくお願いいたします。

それでは、お手元の資料に基づいて、東京都電機商業組合としての令和8年度の予算に対する要望についてご説明させていただきます。よろしくお願いいたします。

私たち東京都電機商業組合、以下、東京商組と明記させていただいております、地域に根づいたまちの電器店で構成する商工組合であります。私たちのモットーといたしまして、お客様に対して快適な生活を送っていく上で欠かせない家電製品を販売するだけでなく、家電製品の安心・安全な使い方や修理など、きめ細かなサービスを提供することで、都民の生活を支えていると自負しております。

また、東京商組の加盟店の地域電器店は、地域に密着した商売を行っておりまして、コミュニティの一員として町内会など諸活動に参画するなど、地域社会の活性化だけでなく、地球温暖化対策に対しても全国電機商業組合連合会の主催の「まちのでんきやさんカーボンニュートラル宣言」に参画するなど、温室効果ガス排出削減に向けた取組を積極的に行っております。

一方、東京都は、2050年ゼロエミッションの実現に向け、取組を一層加速化するために、2030年カーボンハーフ、そのほかの未来を見据えた、ゼロエミッション東京戦略Beyondカーボンハーフを策定させております。東京商組として、加盟する電器店と共に、家庭での行動変容を促すための施策である省エネ家電への買換えサポートとする東京ゼロエミポイント事業について、東京都と歩調を合わせ、脱炭素社会へ向けた取組を進めてまいりたいと思います。

近年、地球温暖化はますます深刻化を増す中、さらなる温室効果ガスの削減に向けた取組を進めていくために、2つの事項について要望させていただきます。

まず、1つ目といたしまして、高齢者・障害者のエアコン購入支援の継続をお願いいたします。熱中症対策として、本年8月30日から支援拡充されました高齢者・障害者のエアコン購入支援については、お客様の快適な生活を支える地域電器店として、高齢者の方に安心して夏を過ごしていただくために、非常に心強い支援拡充でございました。

地域電器店では、地域に根づいた活動を行いながら、お客様のニーズに合った家電製品をこれまで提案してきました。今回の支援拡充によって、お客様が求める機能のエアコンを提案して、選択いただける範囲が広まりました。また、省エネ家電の意識が高まり、お客様の省エネ家電の利用意識の変化にもつながっていると考えております。

ついでに、高齢者・障害者エアコンの購入支援は、来年度も引き続き、予算を確保していただくようお願いいたします。

2つ目に、地域家電販売店として連携した家庭における省エネ対策の推進でございます。ご高齢の世帯などでは、家電製品の効率性やメンテナンス等、気づかずに長く使い続ける

方が多く見かけます。東京商組では、全国電機商業組合連合会と連携し、電器と安全・安心なくらし点検訪問サポーター巡回活動など、販売とは関係なく、お客様の所有の家電製品やコンセント回りの安全かつ適切な使い方、また、メンテナンスの必要性についてお伝えする活動を行っております。さらには東京商組の加盟店の多くは、東京省エネマイスター店に認定されておりまして、近年、地球温暖化対策の動向などについて定期的に研修を受講するなど、知識向上にも努めております。

このように、日頃から地域と密着した東京商組加盟店の地域電器店のノウハウを活用すれば、より一層家庭における省エネ促進が行えると考えております。

ついては、都民の省エネ行動の変容を促すために、家電のプロフェッショナルである地域電器店と連携した家庭における省エネ対策についても、引き続きしっかり進めていただきたいをお願いを申し上げます。

以上でございます。ありがとうございました。

○司会 ありがとうございます。

それでは、知事からコメントをお願いします。

○小池知事 東京都では、2030年にカーボンハーフという大きな目標を掲げておりまして、その実現に向けて家庭の省エネ対策の推進が重要でございます。皆様方、組合の皆様方にはまさに地域に根づいた省エネ対策の情報など、丁寧に皆さんにお知らせをいただくということなど、都民の安心・安全な暮らしにお力添えをいただいております。

今年は本当に暑かったですね。観測史上最も暑い夏となりました。ご高齢の方、また、障害のある方は暑さに対するリスクが高い。また、もったいないという精神が逆に徹底もされておられる方も多いということでございますが、効率のいい省エネエアコンの購入を後押しをすることで、省エネ対策にもつながる取組も都として行ってもおります。大変ご好評いただいております省エネエアコンの購入でございますけれども、都民の皆様方から大変ご好評をいただきまして、そのことも踏まえて、第4回のこの明日が閉会になるんですけれども、第4回の定例会で補正予算案をそれも含めて提出をしているところでございます。

引き続き、地域に身近な家電の専門家としてご高齢の世帯など、都民生活を支えておられる組合の皆様方と連携を深めながら、引き続き省エネ対策、進めていきたいと考えております。

私からは以上です。

○東京都電機商業組合（福田理事長） ありがとうございます。

○司会 2点のご要望につきましては、目下来年度の東京都の予算編成が進行中でございますので、この中で具体的に検討をさせていただきたいというふうに思っております。引き続きのご理解を賜ればと思います。

○東京都電機商業組合（福田理事長） ありがとうございます。よろしくお願いいたします。ありがとうございます。

○司会 ありがとうございます。

それでは、これもちましてヒアリングを終了とさせていただきます。本日は誠にありがとうございました。

○東京都電機商業組合（福田理事長） こちらこそありがとうございました。よろしくお願いいたします。

（東京都電機商業組合 退室）